

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		連合発表会(学芸会・音楽会)					所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	平成 年度
		[小 柱]							[終了予定]	平成 - 年度
		[施 策]								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要項等なし					
	事業対象	区立小学校児童								
	事業目的	区立小学校の児童が日頃の成果を発表し、鑑賞することにより創造性を育む。								
事業内容	区立小学校の児童が、音楽会・学芸会において日頃の学習の成果を発表する。									
委託の有無	一部委託		委託内容	舞台装置撤去等作業委託、楽器調整等作業委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	開催回数		(回)	1	1	1	1		
		参加児童数		(人)	750	803	479	733		
	決算額 (単位：千円)					357	353	350		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			170	160	178			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			358	354	350			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0			
		総経費			528	514	528			
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源(区負担額)			528	514	528					
前回評価から改善した事項	各学校へ配布する音源録音機器を、次年度も活用できるUSBに変更した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	日々の学習成果を発表する機会を設けることで、児童同士互いに刺激を受け、学習への意欲向上につながるため、事業を継続する必要性は高い。							
	効率性	3	区内の小学校を半数に分け、隔年で発表会を行うことで効率的に事業を実施できている。また、区立施設を減額利用することで低コストを実現できている。							
	手段の適切性	4	複数校で集まり発表会を開催することで、学校間での学習の成果を確認することができ、教員及び児童が互いに刺激を受けて学習への意欲向上へつながっている。							
	目的達成度	3	多くの児童が発表会に参加することで発表の機会を得、学習上の効果を上げている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
発表の機会を得ることで、児童に目標が生まれ学習意欲ならびに学習効果が上がる。また、他校の児童と交流する機会でもあるため、互いに刺激をうけ、更なる意欲向上につながる効果がある。							維持			